吉備中央町

議会だより

第77号
令和７年４月20日発行
発行／岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集／議会広報編集委員会

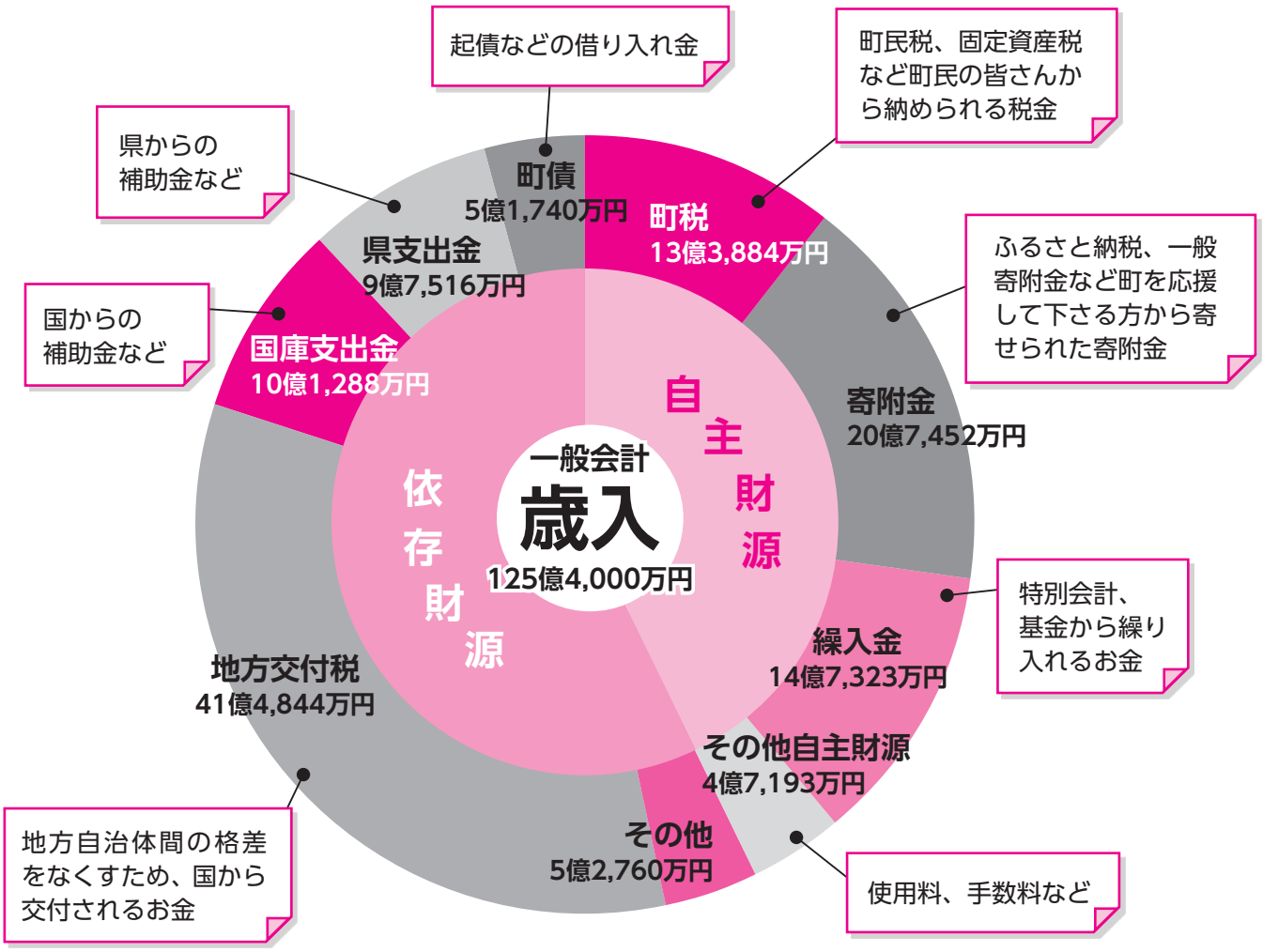
ありがとう、私たちの小学校

TOPICS

令和７年度予算を可決…… 2
３月定例会 …… 6
11議員が町政を問う…… 7
小学校閉校事業…… 14

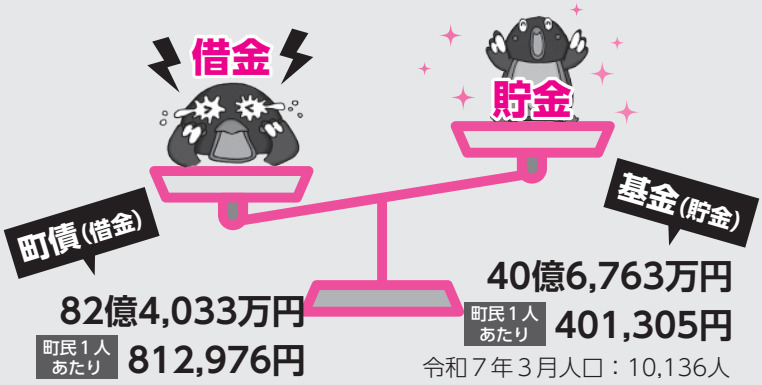
て支援予算／

魅力あふれるまちづくりを



町債（借金）と基金（貯金）の状況

（R６年度末［見込］・一般会計分）



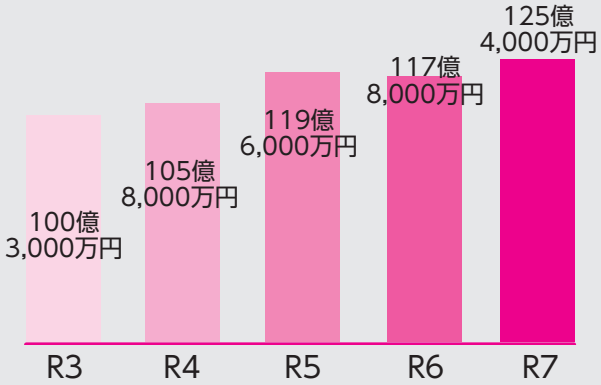
82億4,033万円
町民１人あたり 812,976円

40億6,763万円
町民１人あたり 401,305円

令和７年３月人口：10,136人

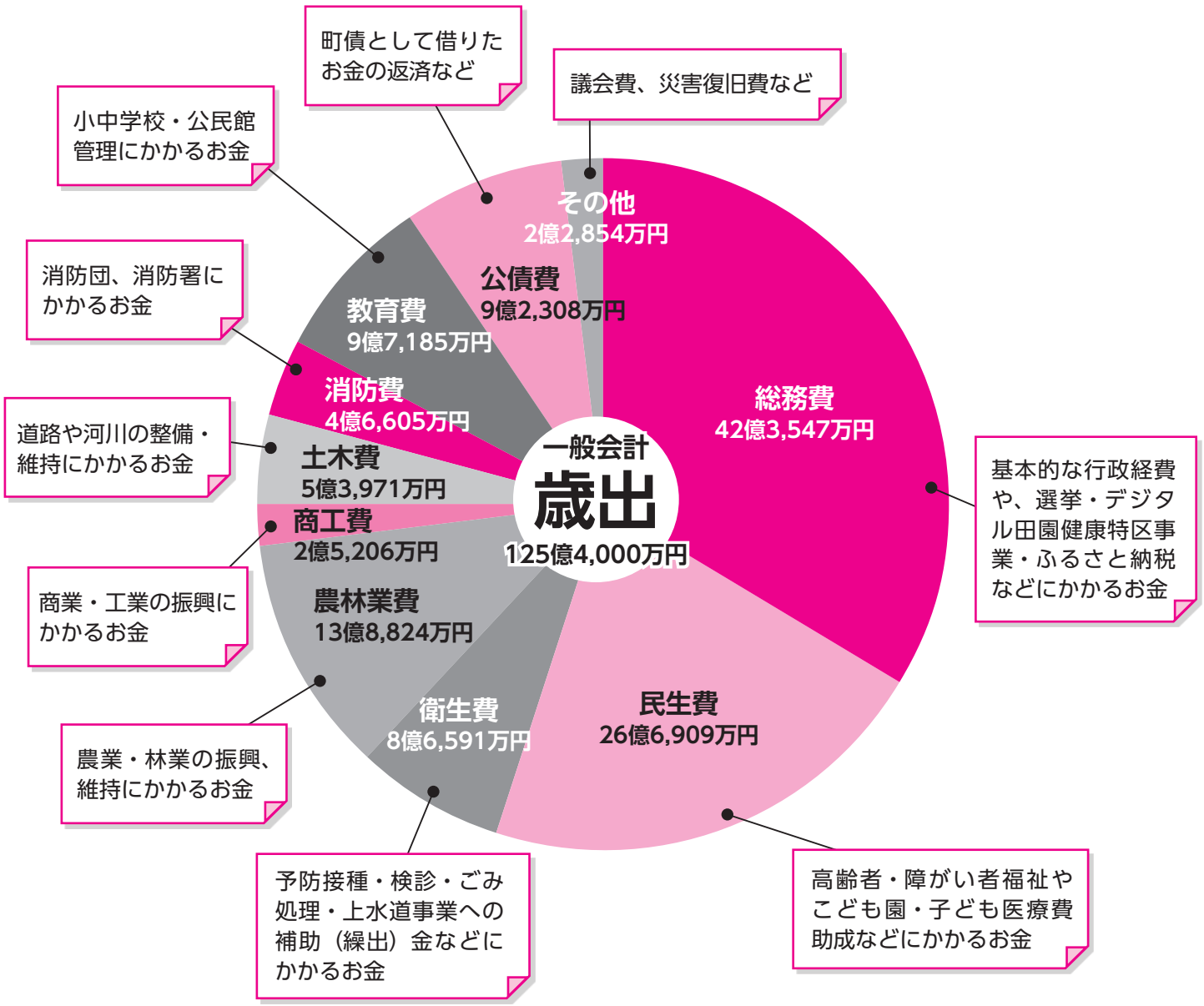
但し、将来負担比率（この先負担しなければならない借金返済のお金が、通常見込まれる収入に占める割合）は25.9ポイント向上しており、町の財政健全化は着実に進んでいます。

５年間の一般予算の推移（当初）



令和７年度
第１回定例会
３月３日から26日まで

＼子育
住みたくなる



一般会計予算
125億4,000万円
前年度比6.5%増

特別会計（９会計）予算
40億4,806万円
前年度比0.1%減

上水道事業会計予算
10億2,614万円
前年度比39.3%減

下水道事業会計予算
4億2,377万円
前年度比4.2%増

業 ここに注目!!

度の気になる主な事業を紹介します。

［新規・拡充］

やさしさあふれるまち

～保健・医療・福祉分野～

新規：43万円

救急安心センター事業

医療機関受診時の症状や緊急性を把握して、
救急要請の要否、適切な診療科目などの医療機関案内をおこなう電話相談事業。

救急車を呼ぶ前に考えよう

拡充：6,398万円

予防接種事業

従来の各種予防接種に加え、
帯状疱疹の定期予防接種を追加。

新規：6,000万円

未来社会を先行実現するまち

新しい地方経済・生活環境創生交付金事業 ～デジタル実装型～

デジタル技術を活用し、地域の課題解決や魅力向上に資する取り組み。

ピックアップ事

令和７年度予算が決定しました。今年

次世代の宝を育むまち

～子育て・教育・文化分野～

新規：196万円

おむつサブスク事業

認定こども園における、保護者のおむつ費用及びおむつ持参の負担軽減。

拡充：6,786万円

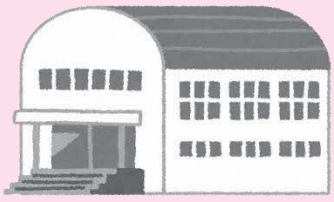
放課後児童健全育成事業

保護者が昼間家庭にいない小学生を対象とした、公設公営の児童クラブの運営。

新規：3,718万円

加賀中学校屋内運動場エアコン設置工事

熱中症対策のため、屋内体育館に空調設備を整備。



加賀東・加賀西・加賀南
小学校通学のスクールバス路線が追加

3月定例会

3月定例会は3月3日に会期を24日間とし開会された。主な議案は、条例改正12件、計画の変更1件、令和6年度一般会計・各特別会計及び上下水道事業会計補正予算8件、令和7年度一般会計・各特別会計及び上下水道事業会計予算12件、請願、陳情各1件が上程された。審議の結果いずれも原案どおり全員賛成で可決され、26日閉会した。

条例の改正（主なもの）

◎スクールバスに関する条例の一部改正

小学校の統合に伴い、加賀東・加賀西・加賀南小学校へ通学するためのスクールバス路線を追加。

安心安全な運行を

◎バス有償運行に関する条例の一部改正

・賀陽庁舎から岡山医療センターへのアクセスが可能。

・町営バス妙仙寺・兼信線が、主に上竹荘小学校へのスクールバスを兼ねて利用されていた。上竹荘小学校が閉校になり、また一般の方の利用がないことから、廃止。

地域と医療をつなぐバス便

◎住みたいまち定住促進条例の一部改正

U・Iターン者、新規就業者、住宅取得者などへの奨励金の交付が令和11年度まで延長。

住みたい町。吉備中央町

◎消防団条例の一部改正

出動報酬の支給要件に、捜索活動を追加。

計画の変更

◎過疎地域持続的発展市町村計画の変更

・屋内運動場への空調設備の設置

・吉備高原公民館の設置

令和6年度補正予算

◎一般会計・各特別会計及び上下水道事業会計補正予算

新型コロナワクチン接種希望者の減少、児童クラブ施設新築工事の設計変更に伴う予算減額。

請願

◎「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願

採択と決定

陳情

◎政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

趣旨採択と決定

一般質問

あなたはどの質問に注目しますか？

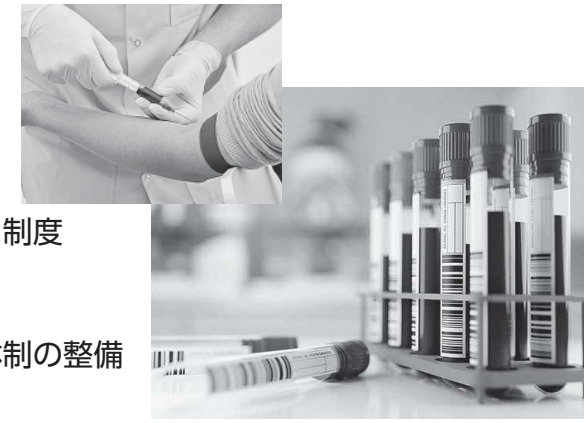
一般質問とは、議員ごとの視点で地域の課題や住民の声を取り上げ、町長の方針や見解、説明を求めるものです。

まちづくり

P8 河上真智子 空き校舎の活用
P11 西山　宗弘 住宅新築資金等の貸付
P11 髙森　　学 下竹荘小学校の跡地利用
P12 片岡　昭彦 吉備中央町のまちづくり
P12 丸山　節夫 吉備中央町の財政

健康・福祉

P9 我妻　瑛子 PFAS問題
P10 山崎　　誠 PFAS問題
P10 平澤　一浩 配食サービス制度
P13 黒田　員米 PFAS問題／重層的支援体制の整備



くらし／農業・防災・デジタル

P9 石井　壽富 山林火災の対策
P9 我妻　瑛子 地域計画
P10 山崎　　誠 買い物支援
P12 丸山　節夫 農業振興

子育て・教育

P8 日名　由香 児童の学校での熱中症対策

Q 児童の学校での熱中症対策は

A 引き続き配慮する

日名 由香（ひな ゆか）

Q 近年の猛暑で体育館内の温度・湿度が高くなり、子どもたちの熱中症リスクが高まっている。予算にも加賀中学校体育館へのエアコン設置費用が計上されているが、具体的な導入スケジュールは。

A 石井教育長 町では近年の猛暑や夏場の気温上昇を受け、令和7年度の予算に加賀中学校体育館へのエアコン設置工事費を計上した。これまで小学校統合に伴う校舎の工事が優先していたが、一段落したため、体育館へのエアコン導入を進めていく。今後も予算や他の事業との兼ね合いを見ながら、町内の体育館に順次エアコンを設置していく予定。

他、消滅可能性都市に入っていることへの認識と対策、学校の安全対策を質問した。

熱中症予防の運動指針（気温・WBGT・レベル・運動目安）

気温	WBGT（暑さ指数）	警戒レベル	運動の目安
35℃以上	31以上	運動禁止	原則中止
31～35℃未満	28～31未満	厳重警戒	激しい運動は中止
28～31℃未満	25～28未満	警戒	積極的に休憩
24～28℃未満	24～25未満	注意	積極的に水分補給
24℃未満	21未満	ほぼ安全	通常通り運動可能

Q 空き校舎の管理は

A 必要最低限おこなう

河上真智子（かわかみ まちこ）

Q 小学校統合後の空き校舎の活用は、地域でよい活用法があればその方向で、それが難しい場合には解体して新しい使い道を探す方針と聞く。長期にわたれば町の負担する維持費が増大するだけでなく、設備の老朽化が再利用の際の足かせとなる。どの程度の期間を想定しているのか。

A 大樫企画課長 必要最低限の管理は、概ね一年程度を想定している。その先に活用の目途が立っている場合などは、柔軟に対応していく。

有効な活用を！

Q 事業者による空き校舎の利活用に際して、当初より町費の投入はしないという条件が付けられていたが、今後もこの方針に変更はないか。

A 山本総務課長 原則「普通財産」として町が維持管理している期間については、景観保持や第三者に被害が生じる恐れがある場合を除いては、施設の修繕などに対して単独町費は投入しない方針である。

他、医療福祉の充実、防災関連を質問した。

石井（いしい） 壽富（すみとみ）

Q 山林火災への町の対策は

A 予防策は講じている

Q 町内での山林火災の発生状況は。

A 山本町長 林野火災は平均2件（非火災、枯草火災は除く）

Q 火災防止の広報などの啓発活動は。

A 町長 火災予防は町消防団が定期的に消防車で巡回し、火災予防アナウンスを実施。チラシ配布、週2、3回程度告知放送を通じ、広報している。

Q 火災発生時の避難場所設置は。

A 町長 大規模火災が発生した場合は、避難所を開設すべきと考える。

Q 消火栓の設置状況は。

A 町長 町内地下式消火栓は820箇所設置。林野、火災発生時は河川、ため池が主な水利となる。

Q 今後の対策は。

A 町長 町と住民が連携し、火災予防に努めることが重要。今後とも、消防団を中心に引き続き火災予防広報を継続していく。

他、デジタル化事業を質問した。

我妻（あづま） 瑛子（えいこ）

Q 地域計画の意義は

A 見える化と課題の明示

Q 地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）の意義は。

A 三高農林課長 現在の農地の担い手状況の将来どのように変化するかを見える化することにより、地域が今後どのようになることが予想されるか、また課題が何かを示すことが狙いであると認識している。

Q PFAS問題、健康影響対策担当人員の配置が必要では。

A 山本町長 体制の見直しや人材の確保は深く考える必要がある。調整中。

Q 特別な対応として①1年ごとの血中濃度測定②町内での採血③学校での取り組みを。

A 塚田保健課長 ①関係機関の意見を聞きながら、採血間隔は検討していく。②子どもの安全安心を最優先に検討していく。

A 大月教育委員会事務局長 ③主体的、対話的で深い学びとするためには、全国で統一された知見、科学的根拠が示されることが大切である。確定に基づいた学習となる配慮が必要。

地域計画集落説明資料

Q デジタル買い物支援1億円成果は

A 利用状況の把握に努め対応する

山崎（やまさき） 誠（まこと）

Q 移動手段のない人の買い物支援は重要な課題である。令和4年度からデジタル田園健康特区事業の買い物支援に約9200万円が投入され、J社に委託している。また、高齢者の困りごと相談には約4400万円投入され、同じくJ社に委託している。利用データを分析し、対応は。

A 大樫企画課長 買い物支援は、今年度4月から10カ月間で3841件の利用があり、ネット注文は40％、電話注文などは60％である。困りごと相談は、きびアプリの健康チェック機能を活用して、家族による見守り支援をしている。利用状況の把握に努め、対応したい。

Q 円城PFAS汚染で709人の血液検査結果が発表された。最も多い人は74・3・1ng／ml。

米疾病予防管理センターの「健康リスクが高まる」指針値20ng／mlを超えた人は87％の多数にのぼる。専門職員の配置やPFAS健康手帳が必要ではないか。

A 山本町長 前向きに調整する。

他、高齢者見守り、困りごと相談を質問した。

Q 配食困難事態になった時の対応は

A 地域の力に頼らざるを得ない

平澤（ひらさわ） 一浩（かずひろ）

Q 配食サービス制度の目的、現在の利用者数、提供する事業所数は。

A 古林福祉課長 低栄養状態や調理が困難な高齢者や障害者の方に、栄養バランスのとれた食事を定期的に提供、配達時に安否確認をする制度。令和6年度1月末で84名、延べ14，270食を町内3事業所で提供。

Q 配食サービスが提供困難時の補完体制については。

A 福祉課長 事業所間で調整し、補い合う体制がある。全事業所が提供困難という大きな災害が起きた場合などは自治会、自主防災組織、民生委員、愛育委員、栄養委員など地域の様子を把握されている方々の共助に頼らざるを得ない。町としては社会福祉協議会との連携を図りながら、地域づくり支援をおこなっていく。

栄養バランスのとれたお弁当

西山（にしやま） 宗弘（しゅうこう）

Q 住宅新築資金等の貸付金は

A 債権回収の事務を粛々と

Q この制度は、昭和41年に始まり現在までそのまま記載が残っている。その支払いはいずれ不能欠損の処分に至ると思われるが、見解はどうか。

A 山本町長 昭和41年から平成5年まで、住宅新築資金貸付事業をおこなっていたが、平成9年3月31日をもって条例の廃止、貸付事業を終了。貸付数は146件、3億1699万円の貸付。貸付償還残分は従前の例により回収。令和6年5月31日現在、滞納額は、住宅新築資金10件3690万9000円余り、住宅改修資金9件513万9000円余り、土地取得資金4件1074万4000円余り。合計23件5279万4000円余りが滞納という現状。償還をしておられる方とされてない方との不平等性も鑑みて、債権回収に向けて事情も酌みながらも、粛々と事務をおこなっていくことが必要と考える。

髙森（たかもり） 学（まなぶ）

Q 下竹荘小学校の跡地利用は

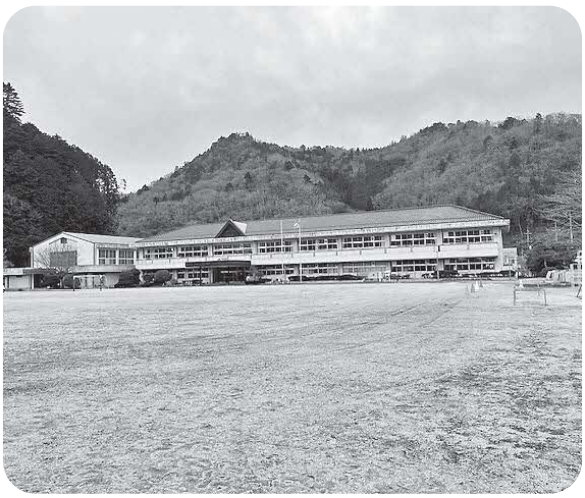
A 教育委員会事務局などを移転

Q 下竹荘小学校の跡地利用は地元の要望により総合的な教育機関・地域の集いの場の活用に努めると、回答があった。令和7年度における予算内容および8年度以降の予定は。

A 山本町長 令和7年度において設計などに726万円、令和8年度において改修工事を実施し、令和9年度に移転の予定である。

Q 地元の集いの場の設置に向けて、地元住民との協議の場を設けてほしい。提案⇩医療施設の設置をしてはどうか。

A 町長 地域の方の声をしっかり聞いて適切な対応をする。また、診療所の設置は地理的にもほぼ町内の中央に位置しており、よい提案だと思う。医師の確保は大変難しいが、できる方向で今後検討していきたい。



生まれ変わる、下竹荘小学校

他、庁舎窓口でおこなっている総合案内業務を質問した。

Q 吉備中央町のまちづくりは

A 柔軟で粘り強いまちづくりを

片岡（かたおか） 昭彦（あきひこ）

Q 吉備中央町のまちづくりにおける、第二次吉備中央町総合計画の取り組み成果と、5年先、10年先のまちづくりの考えを。

A 山本町長 総合計画に掲げる施策は、おおむね遂行できている。特に子育て施策は、他の自治体に比べしっかり充実している。次世代先の子どもたちが、吉備中央町に思いを寄せる活気のある町にするため、現計画の「22世紀のふるさと吉備中央町」を踏襲。「チャレンジ＆パワー」を基本コンセプトに、柔軟で力強く、粘り強いまちづくりを目指す。

Q 提案⇩町職員が加賀中学校に出向き模擬生徒会選挙を開催し、町の魅力・施策を伝えては。

A 町長 大変面白いアイデア。故郷を知る、愛着を持つ、みんなに伝えることは大事なこと。

他、教育行政を質問した。

まちづくりの指針

Q 令和７年度予算の概要は

A 効率的に効果的な財政運営を

丸山（まるやま） 節夫（せつお）

Q 令和7年度予算編成に関し、着手予定の新規の取り組み、注視、検討を要した事業の概要を問う。

A 山本町長 新規事業としては、①認定こども園における、おむつサブスク業務②加賀中学校体育館のエアコン設置工事③6月下旬から運営を開始するアフタースクール事業④急病時に電話相談ができる救急安心センター事業⑤空き家解消と移住者の増加を目指すお試し暮らし住宅整備事業⑥デジタル事業では、新たにデータ連携基盤を活用し、各自治体で開発したシステムの相互利用を可能とする取り組みに着手する。

拡充事業では、①令和6年度開設した吉備高原児童クラブに加え、新たにスマイル児童クラブ、加賀西児童クラブを開設し、公設公営の放課後児童クラブとして運営開始する。

②予防接種事業では、従来の予防接種に帯状疱疹ワクチン接種を加える。③町道草刈り事業では1㎞当たり3万円から4万円の増額補助を図る。

引き続き、財政の健全、持続可能性を前提として、効率的、効果的な財政運営に努める。

Q 主食用米の生産と転作政策のバランス・調整に対する今後の推進方策を問う。

A 三高農林課長 町では、需要に応じた主食用米の生産を推進するため県農業再生協議会が示す生産量の目安5261・8t、面積換算で、1026haを見込んでいる。

今後も、県・町再生協議会などの関係機関と連携し、情報提供と支援により、農業者が適切な経営判断がおこなえるよう努める。

他、中山間地域等直接支払制度、へそ8バスの利便性向上に対する取り組み方を質問した。

黒田（くろだ） 員米（かずよね）

Q PFAS委員会へ住民も
A 含めた組織作りをする

Q 今後の有機フッ素化合物の対策検討では、対策委員会へ地域住民も参加してもらい意見を求めるべき。

A 山本町長 今までは緊急性があり速やかさを優先に対応したが、今後は将来に向けての取り組みなど、地域住民皆さんの意見をしっかり聞いた上で方向づけをすることが大事。早急に、地域住民の方が入った組織をつくりたい。

Q 重層的支援事業の内容と、地域住民の関わりは。

A 古林福祉課長 福祉や医療、地域のつながりを活用し、相談・支援・地域づくりを一体的に進め、社会的孤立を防ぐことを目的とした制度。現在、令和8年度開始を目標に関係機関と協議をおこなっている。地域住民も含めた支援者が連携し、当事者に寄り添いながら関わることで、関係づくりができ、本人や家族のニーズに即した支援につながる事業としたい。

他、アフタースクール事業を質問した。

声をカタチに！

議会だよりへの ご意見・ご感想をお寄せください

いつも「議会だより」をご覧いただき、ありがとうございます。
皆さまの声を紙面づくりやより身近な議会運営に活かしていくため、議会だよりに対するご意見・ご感想を募集しております。

01 ★★★★★
わかりにくかった記事はありませんか？

02 ★★★★★
もっと詳しく知りたいテーマはありますか？

03 ★★★★★
こんなことを取り上げてほしい！

ご意見・ご感想の送り方　Mail：gikai@town.kibichuo.lg.jp

いただいたご意見は、議会だよりの改善に活用し、可能な範囲で紙面にてご紹介させていただきます。
皆さまからの貴重なご意見・ご感想を心よりお待ちしております。

ありがとう、これからも心のなかに

在校生、卒業生、先生、地域の皆さんが集まった閉校イベントでは、たくさんの「懐かしいね」「楽しかったね」の声が響きました。そこに刻まれた思い出は、これからも地域の宝物。各学校のイベントの写真をご紹介いたします。

シンガーソングライターHIPPYのライブ

「地域の方への恩返し」津賀っ子カフェ

津賀地区民生委員さんの炊き出し

津賀小学校

円城夏ものがたり

円城小学校

でっかい文字DE校歌を書こう！

地域有志ら制作の旧円城小の模型

恩師へ感謝の気持ちを込めて

御北ふれあい活動

閉校記念碑の序幕式

御北小学校

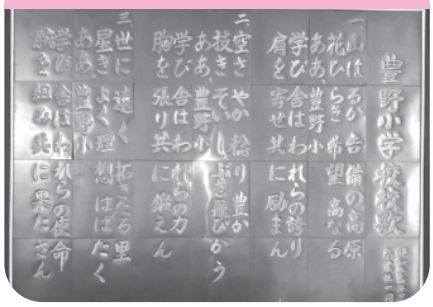
未来にはばたけ風船とばし

上竹荘小学校

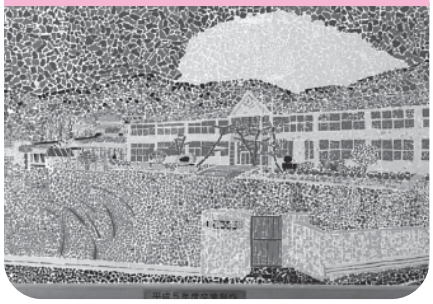
菅野大漸さんとの壮大なアート

閉校記念新聞

思い出の校歌



校舎のモザイク画



上空から学びの舎

豊野小学校

最後の学習発表会

下竹荘小学校

閉校記念碑の序幕式

学校旗返納

みんなでもちつき

大盛り上がりのもち投げ

吉川音頭復活！

吉川小学校

大和小学校

さよなら
夏祭りの動画

さよならカフェ

思い出の学び舎

閉校イベント開催

在校生、保護者とピニャータ割り①

在校生、保護者とピニャータ割り②

吉備高原小学校

デジデンフォーラム

第2回 吉備中央町デジタル田園都市推進フォーラム

令和７年３月22日（土）、きびプラザ３階大ホールにおいて、第２回吉備中央町デジタル田園都市推進フォーラムが開催されました。

フォーラムでは、山本町長と岡山大学病院の牧講師らが登壇した「救急医療について考えるパネルディスカッション」と岡山市消防局の救急隊員らによる「救急搬送時の情報共有のデモンストレーション」が実施されました。

なかでも、デジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けて実装した「共通診察券」という新しいサービスは、個人の健康・医療情報が蓄積されており、救急搬送時に救急隊と搬送先医療機関にデータが送られ、迅速な病院選定や最適な処置に寄与されるものです。さらに、家族の連絡先情報も登録することができるため、患者本人の補足的な情報も得られやすくなり、病院への搬送まで約１時間を要している本町の救急搬送の課題を解決されるものとして期待されています。

詳しくは、インクルーシブスクエアへ

共通診察券の説明動画

共通診察券の発行はきびアプリの登録から！

※共通診察券の発行サポート等は、農業振興センター２階にあるインクルーシブスクエアまでお問い合わせください。
TEL：0866-54-9011

編集後記

少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。

町内では学校の統廃合を迎え、新たな一歩を踏み出す子どもたちの姿に、希望と少しの寂しさが入り混じる季節でもあります。議会だよりも、そんな町の変化とともに少しずつリニューアル中です。議会をより身近に感じていただける紙面を目指しています。お読みいただいた感想を、ぜひお気軽にお寄せください。これからも温かく見守っていただけると嬉しいです。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

日名由香